令和3年度外部評価　事業評価シート

No	4	事業名	下水道接続の促進（下水道維持管理事業）

別紙2－4

所属	上下水道部下水道課排水設備係	事業開始年度	平成5年度
事業内容	新たに下水道の供用を開始した区域内の建物所有者へ、下水道接続の依頼文を送付し速やかな接続を図ります。また、下水道供用開始後、1年以上経過した未接続の建物所有者へ接続依頼文を送付するとともに、戸別訪問を行い接続依頼を行っています。		
目的	整備した下水道を有効なものとするとともに、供用区域内の市民が良好な生活環境の中で生活できるようになります。		
根拠法令等	下水道法、安城市公共下水道条例		
関連事業	・水洗便所改造資金融資あっせん ・浄化槽転用雨水貯留槽補助金		

【実施状況】

活動実績

令和2年度

下水道接続促進のため、以下の取組を実施しています。

①下水道供用開始後1年以上経過した区域の未接続者へ、接続依頼文書を送付（9月下旬）
②戸別訪問を実施（一般住宅及び集合住宅等）
③新規供用開始区域の建物所有者へ、接続依頼文書を送付（3月下旬）

内容		実施件数
①接続依頼文書		1,954通
②戸別訪問	一般住宅（400件訪問予定）	79件（うち51件折衝）
	集合住宅等（60件訪問または電話）	61件（うち51件折衝）
③接続依頼文書		320通

※戸別訪問を2月末までに実施する予定でしたが、コロナ禍のため途中で中止としました。
※電話・面談等折衝件数目標は訪問予定件数の50%の件数としています。
※一般住宅の訪問対象家屋は、下水道供用開始後8年以内の区域から隔年で4ヶ年分抽出しています。
（下水道供用開始日がH31.3.31、H29.3.31、H27.3.31、H25.3.31の区域）
※集合住宅等は、水道使用量の多いアパート等を抽出しています。

平成31年度

内容		実施件数
①接続依頼文書		1,942通
②戸別訪問	一般住宅（400件訪問予定）	403件（うち210件折衝）
	集合住宅等（80件訪問または電話）	80件（うち49件折衝）
③接続依頼文書		293通

平成30年度

内容		実施件数
①接続依頼文書		2,017通
②戸別訪問	一般住宅（550件訪問予定）	578件（うち278件折衝）
	集合住宅等（60件訪問または電話）	60件（うち32件折衝）
③接続依頼文書		224通

改善取組（これまでの改善内容）

平成27年度からは、毎年11月に開催する指定工事店との事務連絡会において、接続率の低い区域の情報を提供し、未接続世帯への積極的な営業活動をお願いしています。
平成30年度までは、訪問対象区域を定めずに、供用開始年度の新しい区域から順番に訪問等の接続促進を行っていました。しかし、この方法によりますと、毎年同じ居宅を訪問する場合があり、毎年の訪問は控えてほしいとの要望もあったため、令和元年度からは供用開始後8年以内の区域から隔年で訪問対象区域を抽出することとしました。

【事業費】

年間事業費等の推移	No	区分	平成30年度	平成31年度	令和2年度
	①	事業費（決算額）（千円）	231	246	272
	事業費内訳	郵送料（接続促進通知）	173	115	164
		印刷製本費（パンフレット）	58	131	108
	②	人件費（従事職員数×6,300千円）	5,040	5,040	5,040
		従事職員数（人）	0.8	0.8	0.8
	③	総事業費（①＋②）（千円）	5,271	5,286	5,312
財源内訳		一般財源（千円）	5,271	5,286	5,312
		特定財源（　　など）（千円）			
		財源合計（千円）	5,271	5,286	5,312

【活動指標】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
接続依頼文書発送数（通）	2,274	2,170	2,220
折衝件数／戸別訪問件数 （折衝件数とは戸別訪問件数の内、電話・面談等により直接話しができた件数）	102／140 （72.9%）	225／450 （50.0%）	175／350 （50.0%）

【成果指標】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
接続率（%）・・・①=②÷③	91.6	91.6	91.7
接続人口（人）・・・②	141,956	143,900	145,900
供用区域内人口（人）・・・③	155,029	157,098	159,167

【課題】

課題

活動実績・事業成果等を踏まえて記入

下水道の経営戦略や近隣市の状況を鑑みると、成果指標である接続率（91.6%）について、西三河9市平均の88.9%より高く、特段低いということはありません。
しかし、市民からは未接続家屋からの排水による道路側溝の滞水や、浄化槽管理不備に対する悪臭の改善要望は寄せられています。
また、戸別訪問時に行った未接続家屋に対する聞き取り調査では、半数以上が下水道接続について意思や興味がないとの未検討の状況であったので、「その気にさせる」取組や水環境への意識向上対策が必要と考えます。

【論点】

外部評価での論点

過去の接続状況や接続促進活動のデータ等を分析した結果、より効率的な接続促進活動を行うため、戸別訪問対象者の抽出方法の見直し（供用開始後の経過年数、店舗の業種等）を行い、接続促進活動を継続していきたいと考えますが、どうか。